

別表 提案書評価基準

区分	評価項目		評価基準	評価するポイント
1.性能等評価	提案書	(1)システムの導入効果	①原価計算システムの導入効果	・システム導入の趣旨を理解し、業務に対する取組み姿勢や考え方が妥当であるか。 ・システム導入、運用に対する有益な提案がなされているか。 ・導入経費が回収でき、経営改善の効果が期待できる内容か。
			②健全な経営基盤の確立及び将来を見据えた経営管理手法に活用できるか。	・病院全体で経営課題を共有し、職員一丸となって改善していくシステムであるか。 ・将来的に職員の経営参画に向けた意識の醸成等に繋がるような拡張性の高いシステムであるか。
		(2)原価計算システムの運用構築及び機能、利便性	①原価計算システムの特長と柔軟性に優れていること	・医療現場の業務や実態に則した原価計算ができるか。 ・収益と費用の配分が病院の運営に合わせて、柔軟に見直し等ができるか。
			②システム性能は病院が期待している機能を有していること。	・原価計算結果を活用した具体的な経営課題の抽出や解決方法を導くなど、原価管理が実施できる機能を有しているか。 ・原価計算のみならず、部門や診療科別の損益計算書が作成され、損益分岐点など管理会計に活用できるか。 ・出力される経営指標や帳票は分かり易い資料となっているか。 ・CSVやxlsx形式による任意のデータ抽出が多様かつ容易であるか。 ・診療支援部門等の医業収益の貢献の可視化ができる機能を有しているか。
			③関連システムとの連携及び負担軽減	・複数の既存関連システム（医事会計・財務会計・SPD・人給・勤怠管理）とのデータ連携（取り込み）や帳票作成は煩雑な作業を行うことなく、速やかに実施できるか。 ・原価計算の作成において、病院職員による手作業を軽減させる工夫がなされているか。
		(3)運用支援及び研修	①運用支援	・原価計算の結果を用いて原価管理などを進めるにあたり、ノウハウを活かして病院の経営改善に向けた活動支援が期待できるか。
			②操作研修	・職員の習熟度に応じた研修や理解しやすいサポート体制が取られているか。（複数回での研修の実施、リモート開催、動画コンテンツによる研修体制など）
		(4)稼働後の保守体制	①稼働後の問い合わせやサポート内容	・稼働後の当院からの問い合わせに対するレスポンス速度や体制、システム改善などの要望に応えられるか。 ・システムの構築及び稼働時におけるサポート体制やシステム障害時の対応が示されているか。
			②セキュリティ対策	・個人情報（医事会計・財務会計・SPD・人給・勤怠管理データ等）の取扱いに関する対策が示されているか。 ・サイバー攻撃に関して対策が示されているか。またバックアップや復旧支援などの提案が示されているか。
		(6)その他の提案	①システムに関する独自の提案	・システム導入に対して熱意ある提案がされており、他者にはない強みなど、独自の提案があったか。
2.価格等評価	提案見積価格	提案見積価格を基に、当院の採点基準に則り採点する。		
総合評価点		総合評価 100点 = 1. 性能等評価80点 + 2. 価格等評価点 20点 客観的評価（提案評価者の採点を合計し、配点換算する）		